

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp

杉並区議会第3回定例会で一般質問 住民生活を壊す道路整備はストップを



道路計画沿線の住民や商店
がステッカーを作成。132号
線の計画見直しを求める切
実な声を上げている。

区議会第二回定例会で一般質問に立ちます。

- ① 西荻窪地域の道路計画・補助132号線の都市計画道路整備について
- ② 障害者の移動支援事業の拡充について
- ③ 違反広告物(捨て看板)の除却について

以上の3項目について区の姿勢を質します。

防災効果は極めて低い

補助132号線・都市計画道路整備は、既存の11号道路を16号に拡幅する(場所によっては20号)計画で、多くの住民や商店が立ち退きを迫られます。区は、今年度中に事業認可手続きを進め、来年の夏頃には認可を取得する意向を示しています。

区は道路整備の必要性を「防災力の向上」としていますが、当該地域の地震被害シミュレーション(下記)では、道路沿道の焼失棟数予測は極めて軽微の0〜1棟の青メッシュです。現況予測(下記左図)でも焼失棟数は極めて軽微です。沿道59個のメッシュの平均焼失棟数は僅か0.106棟に過ぎません。全ての減災対策を実施した場合も、ほとんど変化は無く、道路整備の防災効果は極めて低い状況です。



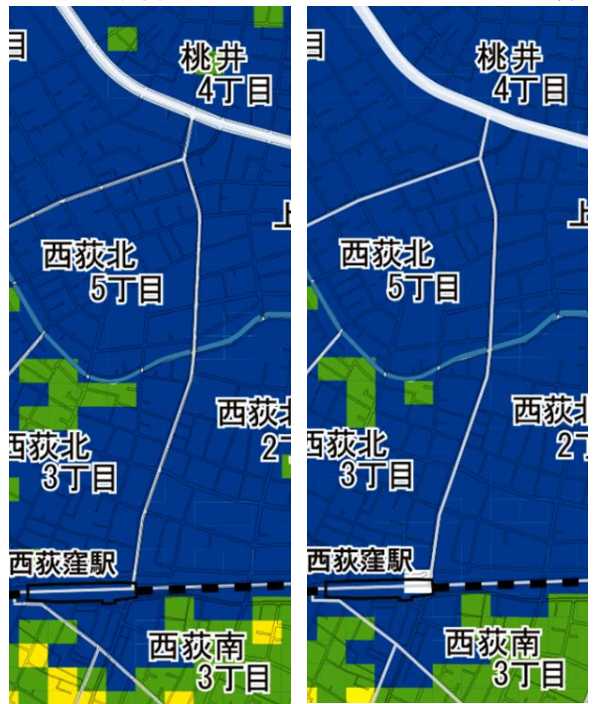
東京ガス西部支店

当該路線には東京ガス西部支店があり、区は、東京ガスの緊急車両通行のために道路整備が必要と説明をされましたが、同事業所では統廃合と移転計画が検討されているとの情報が寄せられています。

事業認可は中止を

防災上の必要性も無い道路計画は速やかに見直し、事業認可申請も中止すべきです。

■地震被害シミュレーションの焼失棟数



現況

減災対策完了後

杉並区は、道路整備を避難路・緊急車両の通行空間確保としています。一方、東京都は各地の道路整備の際、阪神・淡路大震災の事例に触れ「道路幅員8メートル以上の場合には、被災後も通行が可能」と示しています。現況の11号道路でも緊急時の車両通行は可能であり、区の説明は、都の見解とも矛盾するものです。

杉並区議会第3回定例会で一般質問つづき

違反広告物(捨て看板)除却の徹底を

■区内に掲示された違反広告(捨て看板)事例



捨て看板の掲示が深刻化：

一般質問では、違反広告物(捨て看板)の除却についても取り上げます。

違反広告物、いわゆる捨て看板の多くは、電柱に貼られ、最近ではカラーコーンとセットで貼り出されるものも見かけられるようになりました。設置後は、放置・捨てるのが前提であり、地域の景観を著しく損ねることもありません。

掲示される度に、区職員や除却ボランティアにより撤去されていますが、設置後は絶たない状況です。こうした屋外広告は東京都屋外広告物条例に違反する行為に該当しますが、違反広告の掲示を未然に防止することが出来ていません。

質問では、除却の徹底と共に、掲示者に対する指導・監督の強化等、抜本対策の拡充を求めます。

捨て看板の掲示が深刻化：

区内団体と政策懇談会

党区議団は、7月から区内の各種団体と政策懇談会を実施しています。

懇談で寄せられた要望は、来年度の党区議団としての予算要望、議会論戦に反映しています。

懇談をご希望の方は、お気軽にご連絡ください。



今週のコマ

捨て看板増加中...

最近では捨て看板が増加しています。街角で見かける機会も増えているようです。

しかし、撤去の際に掲示業者とトラブルになるケースも多くあります。撤去は杉並区か警察、除却ボランティアをお願いしてください。



「近所で見かけた捨て看板。」

一般質問の傍聴にお越しく下さい！

一般質問は9月12日(木)午前10時~予定
です。ぜひ、傍聴にお越しく下さい！